



# 小中一貫教育本格的スタート どう変わる小中学生の教育

いよいよ4月から当別町での小中一貫教育が本格的にスタートします。小中一貫教育で、どのような教育をめざすのか、また、学校、教員、保護者、地域住民などがどのような役割を担っ

ていくのかを確認し、未来の当別町を支える子どもたちを地域住民が一丸となって育てる方法を考えてみましょう。

## 小中一貫教育でめざす方向性

### めざす人間像

社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人  
(知：確かな学力、徳：豊かな心、体：健やかな体)

#### めざす学校像

- ◆小学校から中学校へのスムーズな移行が可能
- ◆対象学年で付けるべき力を全員につけさせる
- ◆地域や保護者の思いが生かされ共に活動する
- ◆魅力を体感できる教育環境のもと、先進的な取り組みを進める

#### めざす児童生徒像

- ◆基礎・基本と発展的学力、自ら学ぶ意欲を持つ
- ◆豊かな人間性を備える
- ◆健全な心身を養う
- ◆コミュニケーション能力の向上
- ◆プレゼンテーション能力の向上
- ◆郷土愛を持つ

#### めざす地域像

- ◆学校がまちづくりの核となる
- ◆家庭教育や学校教育を支援し、共に育む
- ◆子どもたちと人々の心温まるふれあいの場
- ◆地域の誇りや愛着の心を子どもたちに伝えていく

## 一貫教育への取り組み

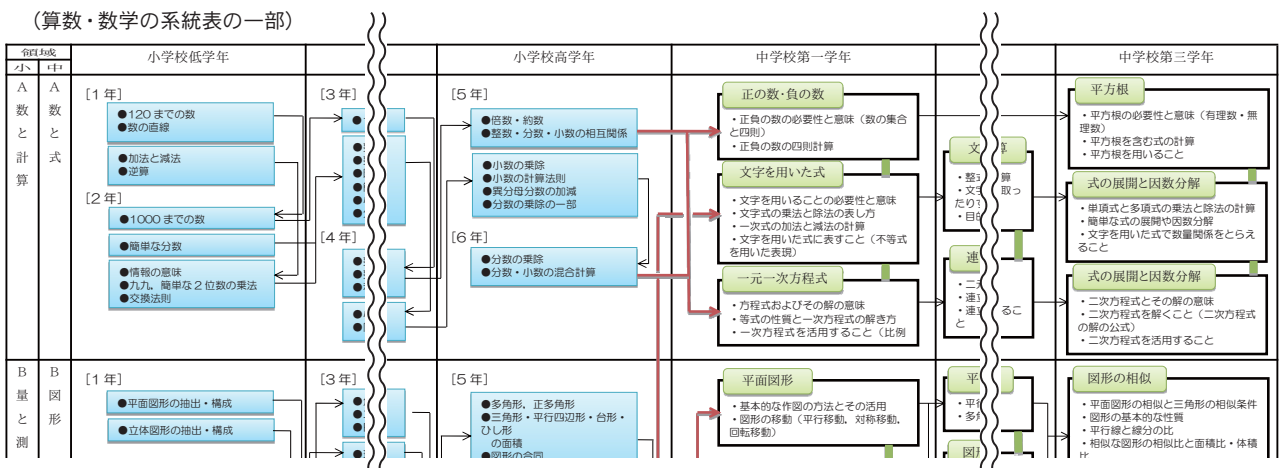
### 義務教育9年間を連続した教育課程の編成

#### ◆学校教育目標の共有

「めざす児童生徒像」実現のため、小・中学校が互いの学校教育目標を共有します。

#### ◆教育課程の接続

小・中学校の学習内容の系統性を明らかにするため、教科の系統表を作成し、小・中学校のつながりを意識して、9年間を見通した指導方法に改善していきます。



## 児童生徒や教職員の交流

### ◆小学校の第6学年の中学校登校

学校段階間のギャップを緩和し、中学での学校生活に期待を持つことをねらいとして、小学校第6学年の児童に、授業・給食・部活動等、実際の中学校生活を体験させます。

### ◆小中一貫教育推進講師の配置

中学校に小中一貫教育推進講師（非常勤）を配置し、小学校第6学年の算数および中学校全学年の数学の授業支援を行います。

### ◆「一貫教育便り」による発信

小中一貫教育推進講師が小・中学校の指導を通して、共有したい情報等を「一貫教育便り」として発信します。

### ◆校内掲示板の設置

小・中学校に「小中一貫教育掲示板」を設置し、互いの学校便り等を共有します。

### ◆教職員研修の実施

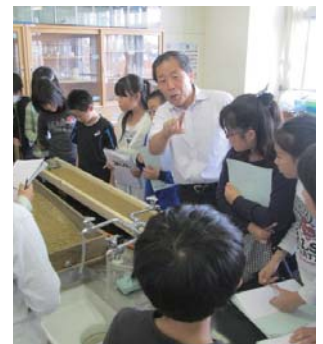
小・中学校の教員が合同でグループワークをするなどして、教員間の連携を深めます。



6年生の中学校授業（体育）の体験



教職員の合同研修



一貫教育推進講師による授業支援

## 地域の特色を活かした教科の導入

### ◆独自教科「当別みらい学」の創設に向けた取り組み

「ふるさと教育」「国際理解教育」「キャリア教育」を

三本柱とした「当別みらい学」カリキュラム作成に向け、教頭、教務主任、教育委員会等で構成された「カリキュラム部会」を設置し協議を行っています。

## 当別みらい学

ふるさと当別を知り、当別の未来について考え、さまざまな方法で発信する力を育てる。

小 学 生	低学年	身近な当別や学校周辺（校区）の様子を知り、英語に親しみ、友達と自分の学んだことや考えを伝え合う力を育てる。
	中学年	自分たちの住む当別の良さを発見・発表し、外国人に英語で挨拶や自己紹介など会話する力を育てる。
	高学年	当別の紹介と自分のかかわりについてまとめ、英語で外国人に簡単に紹介する力を育てる。
中学生		当別の未来を自分の生き方と関連付けてまとめ、英語で語り、討議する力を育成する。

### ふるさと教育

当別の自然・地理  
当別の歴史・文化  
当別の産業・暮らし

### 国際理解教育

英語の活用  
異文化理解と共生できる資質・能力  
コミュニケーション能力

### キャリア教育

職業観  
自分の将来  
当別町の将来

## 学校・家庭・地域が一体となった教育（コミュニティ・スクール）の推進

### ◆「地域とともにある学校」づくりの推進

地域と学校がお互いに深く関わることで、教育に相乗効果をもたらし、地域で子どもたちが輝くには、地域と保護者が学校との連携をより深める必要があります。

例えば、

交通量が増えてきたので、子どもの通学が心配。

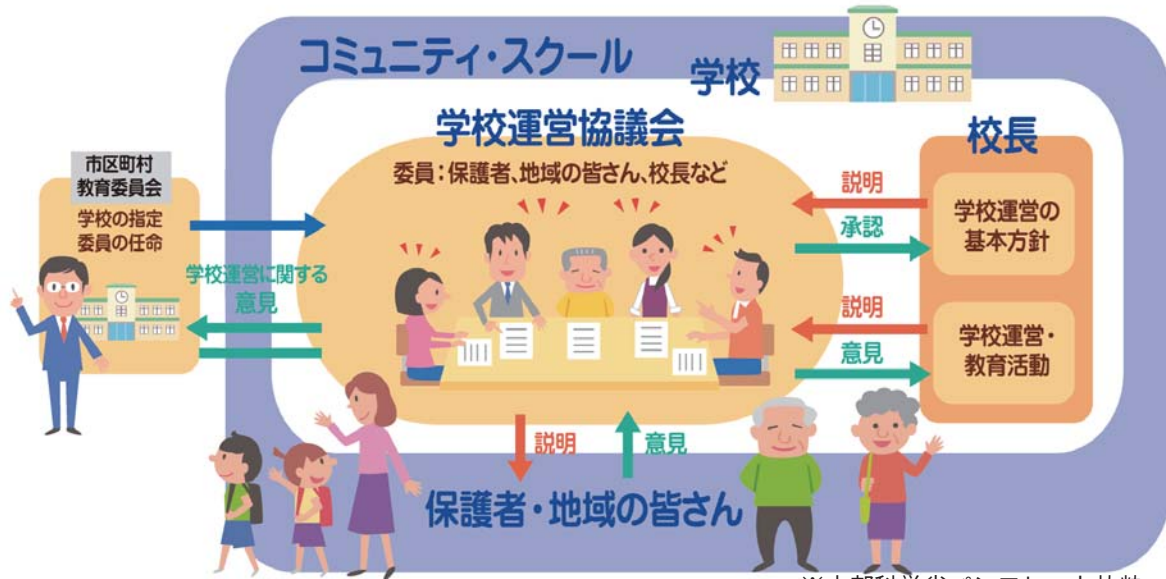
通学途中に挨拶する子が増えたね。

今の子どもたちはどんな給食を食べているの？

校長先生はどんな指導方針を持っているの？

保護者でなくても運動会を見に行っているの？

保護者を含め学校に関心を持つ地域住民が、学校運営・学校行事に深く関わることで学校と地域の一体感を深めることができます。町は、地域の財産である子どもたちの健全な発達を学校と共に進める取り組みとして、コミュニティ・スクールを導入します。



※文部科学省パンフレット抜粋

## コミュニティ・スクールがめざすもの

### 児童・生徒

- 子どもたちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。



### 保護者

- 学校や地域に対する理解が深まります。
- 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。



### 教職員

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営が実現します。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により子供と向き合う時間が確保できます。



### 地域住民

- 経験を生かすことで生きがいや地域への貢献意欲につながります。
- 学校が社会的につながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を中心とした地域ネットワークが形成されます。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。





## 小中一貫教育 Q&A

### Q1 小中一貫教育で、学力は向上するのですか？

先に導入している自治体では、学力が向上している例が多いです。これは次のようなことを実践しているからだと考えられます。

◆小・中学校の教員がお互いに研究をして、わかりやすい授業になるように心がけて進めている。

⇒9年間を見通した指導を行います。例えば、子どもたちが既に学習した内容につまずいていることや新しい学習の中でつまずく可能性が高い内容を考慮した指導を実施します。

◆わかりやすい授業で子どもの学習への意欲向上や不安解消につなげています。

⇒下位群の児童生徒の理解が深まり、学校全体の学力が向上します。

### Q2 小・中学校ともに空き教室があると思いますが、初めから一体型にはならないのですか？

小・中学校ともに空き教室はありますが、一体型にできるほどではないため、当分は分離型で取り組んでいきます。

### Q3 学力向上以外にメリットはありますか？

学力向上のほか、次のような変化も報告されています。

◆児童生徒の変化

⇒中学校への進学に不安を感じる児童が減少した。

下級生の手本になろうとする意識が上級生に高まった。

上級生に対する憧れの気持ちが下級生に強まった。

◆教職員の变化

⇒小・中学校の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まった。

小・中学校間で互いの良さを取り入れる意識が高まった。

教員の指導方法の改善意欲が高まった。



### Q4 当別町だけ独自の取り組みをして、町外に引っ越したときに心配です。

義務教育は全国的な教育の機会均等や教育水準を定めていますので、教育内容が大きく異なることがなく、町外から転入してきた場合や町外へ転出した場合でも困ることはありません。

### Q5 コミュニティ・スクールと他の学校との違いは何ですか？

学校運営にあたって、保護者や地域住民の参画の仕組みが定められていることが他の学校との違いです。学校と地域が力を合わせることによって、互いに信頼し合い、それぞれの立場で主体的に地域の子どもの成長を支えていく、そんな学校づくり、地域コミュニティづくりを進めていくことが、コミュニティ・スクールの一番のねらいです。

### Q6 学校運営協議会の委員には誰でもなれますか？

学校運営協議会委員には保護者と地域住民が含まれる必要があります。その他のメンバーについては、学校や地域の実情を踏まえて教育委員会で定めることになっています。また、委員の選出方法など、具体的な手続きについても教育委員会で定めます。委員構成のバランス等にも配慮しつつ、熱意ある優れた人材を選ぶことが重要です。

### Q7 学校運営協議会はどんなことができるのですか？

当別町で導入を予定している学校運営協議会の主な役割は2つあります。

◆校長の作成する学校運営の基本方針を承認します。

⇒学校の重点目標や年間の学校行事計画などの基本方針について、校長の説明を受け承認します。

◆学校運営に関する意見を教育委員会または校長に述べるすることができます。

⇒「挨拶の指導に力を入れて欲しい」、「地域に協力を求めて欲しい」、「学校にエアコンを入れて欲しい」「学校予算を増やして欲しい」など。

【お問い合わせ】

当別町教育委員会

管理課

一貫教育推進係

☎ 0133-23-2689